

部局名	安全環境部			所属名	清掃センター			所属長名	笠川 博明			電 話	483-4521		
-----	-------	--	--	-----	--------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3238		事務事業名称	浸出水処理施設管理事業							短縮コード	経常	3238	臨時	3239	
予算区分	会計	01	一般会計		款	04	衛生費		項	02	清掃費		目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
第2次最終処分場設置に伴い処分場からの浸出水を適正に処理するための処理施設の維持管理を行う事業。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして							
水質規制項目の追加や規制の強化。機械設備の劣化に伴う修繕費用の増加							大項目（節）	03	環境・衛生							
							中 項 目	02	ごみ処理							
							小項目（施策）	02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進							
							細 項 目	02	焼却施設等の整備							
						実 施 計 画 の 計 画 事 業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	浸出水							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ・ 水処理に必要な消耗品の購入 ・ 機械設備の修繕 ・ 流入水，放流水の水質調査							
	※平成21年度に計画していること： 水処理に必要な消耗品の購入，機械設備の修繕，流入水，放流水の水質調査							
意図 （何を狙っているのか）	現施設の適正管理を行い浸出水の処理に万全を期す							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	浸出水	m 3	29, 985	29, 200	29, 325	29, 200	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	処理水量	m 3	22, 069	29, 200	19, 988	29, 200	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	放流水の基準超過数	回	0	0	0	0	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3238	事務事業名称	浸出水処理施設管理事業			所属名	清掃センター
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	49, 219	63, 857	58, 442	56, 258	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			需用費 消耗品費 9, 598千円 修繕料 9, 216千円 委託料 26, 128千円	需用費 消耗品費 10, 972千円 修繕料 19, 017千円 委託料 29, 147千円	需用費 消耗品費 10, 127千円 修繕料 19, 000千円 委託料 24, 578千円	需用費 消耗品費 14, 506千円 修繕料 11, 813千円 委託料 25, 214千円	
	人件費 (B)			千円	27, 620. 5	27, 436. 3	27, 617. 8	
トータルコスト (A) + (B)			千円		76, 839. 5	91, 293. 3	86, 059. 8	
							83, 875. 8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	処分場の付帯施設であり維持管理であるため。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	施設管理事業が行われる間は浸出水処理が必要。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	市固有の事業の為				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	所期目的の変更はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。				
			☐ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	施設の運転管理，維持管理については委託済み。それ以外の外部委託等は馴染まないため。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法					
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☐ ない					

コード	3238	事務事業名称	浸出水処理施設管理事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			浸出水の処理及び放流水の水質管理が主な業務であり、浸出水処理施設は継続していく必要があるため。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止（事業完了含む）							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			浸出水の処理及び放流水の水質管理が主な業務であり、浸出水処理施設は継続していく必要があるため。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特に無し									

所属長コメント	施設が廃止できるまでは必要な業務である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，課題なく推進可能なことは順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									